



V7 series inverter

VM1からV7への置換えについて①

1/1

VM1からV7への置き換えを行なう場合、運転操作の仕様によっては大きく配線変更を必要とする場合があります。次のケース（①～④）に該当する場合は配線の追加・変更、スイッチ仕様の変更が必要です。

①起動・停止操作に押しボタンスイッチ（モーメンタリ）をご使用の場合

VM1は起動・停止を行なう際、押しボタンスイッチ（モーメンタリ型）、自己保持ボタン（オルタネイト型）の双方を使用することができました。V7は押しボタンスイッチ（モーメンタリ型）は使用できませんので自己保持ボタン（オルタネイト型）に変更する必要があります。

②寸動

VM1の11番端子（JOG）をお使いになっている場合、VM1はJOG信号のON/OFFで動作しましたがV7はX1～X3のいずれかの入力に割り付けたJOGをONした上でFWD/REVをON/OFFしなければ動作しません。JOGを行なうには2つの信号が必要になります。

③正逆転機能をご使用の場合

VM1の4番端子（F/R）をお使いになっている場合、V7には正逆転を1つの信号で切り替える機能を有しておりません。

④フリーラン停止機能をご使用の場合

V7はフリーラン停止機能を端子へ割り付けることで対応いたします。起動・停止に連動するように配線を変更する必要があります。

■端子台機能対照■

VM1インバータ		適合	V7インバータ	
端子番号	名称		端子番号	注記
1	補助端子（AUX）	×	—	
2	速度設定（REF）入力端子	○	12	
3	制御回路COMMON	○	11	
4	正逆転切換信号入力	×	—	回転方向別に起動信号がある為適用無し
5	速度設定用基準電圧	○	13	
6	起動信号（RUN）入力端子	△	FWD	正転起動
		△	REV	逆転起動
7	周波数計接続端子	△	FMA	デジタルメータ対応不可・アナログメータ仕様違い
8	保護機能動作時接点出力（N.O.）	○	30A	
9	C接点	○	30C	
10	保護機能動作時接点出力（N.C.）	○	30B	
11	寸動信号（JOG）	×	X1～X3	パラメータにて割付
12	自動減速停止	×	—	
13	操作回路ON-OFF	×	—	
14	制御回路COMMON		11	
			CM	CMと11番をジャンパする必要があります

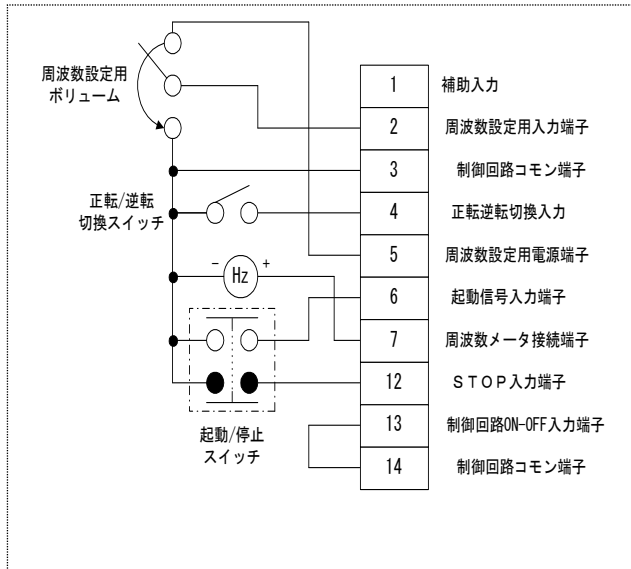


V7 serise inverter

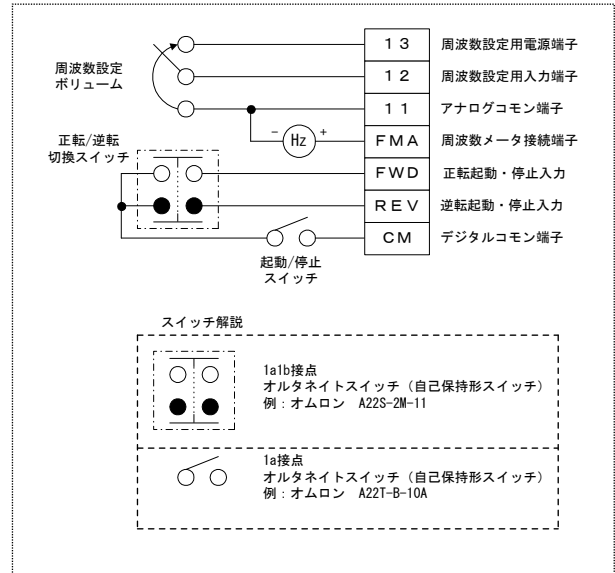
VM1からV7への置換えについて②

VM1を単一自己保持接点操作で使用しているユーザで、V7へ置き換える場合の代表的な接続について説明いたします。

VM1の単一自己保持接点接続例



V7の単一自己保持接点接続例



■ V7インバータの機能コード変更項目は下記の通りです。

機能コード	名称	設定値
F01	周波数設定1	1 : アナログ電圧入力 (端子12)
F02	運転・操作	1 : 外部信号 (デジタル入力)
F03	最高出力周波数	運転で使用する最高周波数を設定します。
F15	周波数リミット(上限)	F03と同じ値を設定します。

その他の機能コードについては、実際の運転に応じて変更が必要になることがあります。